

名古屋能楽堂

正月特別公演事前学習講座

豊臣能楽 ～豊臣家の能と狂言～

今年度の名古屋能楽堂定例公演は、能楽を愛好していた豊臣秀吉を始めとして、能楽に深い関心を寄せた豊臣家の人々に関わるエピソードとともにお届けします。

能の魅力に惹かれた秀吉は、稽古を始めてわずか九か月後に、本業の能楽師の他に戦国武将も多く出演する禁中能を催します。「翁」「杜若」はその時の演目で、「杜若」は秀吉自身が演じました。事前学習講座では、両演目の物語背景や見どころなどをご紹介します。能楽鑑賞に興味はあるけど難しそう…と思っている方、まずは事前学習講座から始めてみませんか？

～『翁（おきな）』あらすじ～

若々しく颯爽たる千歳の舞に始まり、翁の面を舞台でかけたシテによる荘重な祈祷の舞が続く。翁は舞を終えると千歳を従えて退場し、そのあと三番叟が「揉（もみ）之段」と、黒式尉の面をかけ、鈴を持って舞う「鈴之段」の二つの賑やかでダイナミックな舞を舞う。

～『杜若（かきつばた）』あらすじ～

諸国一見の僧が三河国八橋へやってくる。僧が沢辺に美しく咲く杜若に見とれていると、一人の里女が現れ、昔、在原業平が東下りの際にここで休み、「かきつばた」の五文字を各句の頭において歌を詠んだという故事を語る。そして、杜若こそ在原業平の形見の花だと述べて、旅僧を自分の庵室へ案内する。やがて女は初冠・唐衣に装いを改めて現れ、実は自分は杜若の精だと告げ、『伊勢物語』や業平の恋愛事について語り、舞を舞って消えていく。

ご受講には事前学習講座
チケットが必要です

500 円

チケット取扱いについて

チケット発売日：10月15日（木）

チケット取扱い：

名古屋能楽堂 TEL:052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL:052-249-9387（平日 9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口

<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

正月特別公演

【1月3日（日）13:00開演】

能「翁」（観世流） シテ／山中 雅志

狂言「枕物狂」（和泉流） シテ／佐藤 友彦

能「杜若」恋之舞（観世流）シテ／久田三津子

指定席 5,200 円、自由席（一般） 4,200 円

自由席（学生） 2,000 円

講座日時

【日 時】 12月12日（土）

14:00～16:00

【会 場】 名古屋能楽堂 会議室

【講 師】 飯塚 恵理人
（椋山女学園大学外国語学部教授）

【定 員】 60名（未就学児入場不可）

※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。



主催：公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]